



## 当社の事業環境

世界は急速に変化しています。世界規模の課題が私たちの貢献すべき患者さんにどのような影響を与える恐れがあるのかに関して、その課題解決に向けた私たちの取り組みとともにお伝えします。

### 課題： 世界は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が公衆衛生に及ぼす影響への 対応を引き続き求められている

COVID-19は、他の健康問題にまで影響を広げています。一例として、非感染性疾患（NCDs）の発生率が世界中で悪化したことが挙げられます。世界的大流行（パンデミック）は各国の医療システムの圧迫、健康格差の拡大や社会的摩擦の誘引に加え、長期的な経済成長の低迷へと広範に影響を及ぼしています。

一方、明確な検査方法や、治療薬、ワクチン、医療機器、検査キットの在庫など、国際社会が次のパンデミックへの

備えができていようかどうかは定かではありません。また、人口増加や高齢化、ライフスタイルの変化、複雑な疾患に対するより高度な治療法の登場により、医療への投資は最近数十年にわたり、国内総生産（GDP）や所得の伸びを上回る急速なペースで増加しています。

#### 私たちにできること：

価値に基づく医療（バリューベースヘルスケア）へのアプローチが、資源のより良い配分や、患者さんと社会の健康につながると信じており、このアプローチを支持するための活動に取り組んでいます。



[詳しくはこちら](#)

### 課題： 世界的に拡大する健康格差

COVID-19は、国家間や集団の内外で、医療アクセスや治療成果に生じた不平等を浮き彫りにしています。先進国、発展途上国を問わず、異なる社会集団間での健康格差が拡大しており、世界の人口の約3分の1は必要な医薬品を手できていません。

パンデミックでは、医療システムや人々の偏見や差別により医療の不平等や、医療に従事する人々の不平等が拡大しました。また、人種的・民族的マイノリティーの患者さんが臨床試験においても平等に扱われていない現実を認識する出来事もありました。

#### 私たちにできること：

多様なパートナーと協力し、世界中の地域社会における健康格差の特定とその解消に取り組んでいます。



[詳しくはこちら](#)

## 課題： 地政学的な不安定要素が壊滅的な 影響を及ぼす可能性

私たちは政治的に分断された不確実な世界を生きており、正当な理由のない侵略行為が、地政学的状況と市場力学を激変させることを、昨今のウクライナでの紛争と人道的危機で改めて認識させられました。また、COVID-19が拡大する中でグローバル化について、疑念を抱かざるを得ない状況にあります。これまでのような特定の国や経済への依存が急激に変化したり、経済の分断が進むことが予想されます。世界経済で相互の結びつきが弱まっていくことで、人権侵害において一線を超えたり、正当な理由なく侵略行為を行ったりする国に対しては厳しい制裁が課されるでしょう。それがさらなる不確実性を生み出し、企業も難しい決断を迫られることになるのです。

ウクライナの紛争においては、主要なグローバル企業はほぼ一夜にしてロシアとの関係を見直すことを余儀なくされ、タケダを含む多くの企業が不要不急の投資を停止するという決断を下しました。企業はこの新しい世界秩序に照らして、より機敏にサプライチェーン戦略を再構築する必要があります。

### 私たちにできること：

ウクライナの人道的危機が拡大し続ける中、私たちは非常に厳しい決断を迫られました。私たちは、必要な患者さんに医薬品をお届けするという必要不可欠な活動を除き、ロシアにおける活動を中止しました。ウクライナにおいては、世界の人道支援組織と協力し、紛争によって避難し、影響を受けている人々への支援を行っています。また、ウクライナの紛争の影響を受けている患者さんを中心に、治療を必要としている地域の団体や病院に医薬品を無償提供しています。私たちは、患者さんを中心にするという価値観と人権に関するコミットメントに基づき、行動しています。

## 課題： 気候変動は、過去数十年にわたって 取り組んできたグローバルヘルス 進歩に対する脅威となる

気候変動が地球および将来の生活に与える影響は、今日の世界が直面している最大のリスクのひとつであり、人々の健康にも深刻な問題をもたらします。

気候変動は、蚊が媒介する疾病に対処してきた過去数十年にわたる取り組みによる進歩を脅かし、毎年何百万もの人命を奪う可能性があります。さらに、生計や平等性、医療および社会的支援制度へのアクセスなど、健康を維持するための数々の社会的要因を阻害しつつあります。

### 私たちにできること：

グローバル医薬品企業として、タケダの従業員は、人々の暮らしを豊かにする医薬品やワクチンの開発という中核である使命を通じて、気候変動による疾病関連の影響に対処するための知識と経験を有しています。また、タケダは、事業活動やバリューチェーンの脱炭素化に向けて大きく前進しています。2040年度までに事業活動による温室効果ガス排出量（スコープ1および2）をネットゼロにする目標を掲げていますが、これで十分だとは考えていません。さらに脱炭素化を加速させ、2035年までにこの目標を達成できるよう取り組んでいます。



[詳しくはこちら](#)

## 課題： DXはこれまでの医療を一変させる

この24カ月間で産業界は急速なデジタル化を遂げ、人々はリモートワークに移行し、それに伴いプラットフォームやデバイスが急増しました。ヘルスケアはデジタルトランスフォーメーションが最も進んでいる分野のひとつです。

ソーシャルディスタンス対策として、すでに多くの医療提供者が外来患者の予約にバーチャルケア技術を導入しています。病院や医療システムでは、クラウドコンピューティング、5G通信、人工知能を活用し、相互運用可能なデータ分析を通じて課題に取り組み、未来の健康のためデジタルパワーを活用したケア提供モデルの構築が進んでいます。医療科学もまた科学的発見によって変革されつつあり、医療従事者による診断と治療方法が劇的に進化しています。臨床試験構造を基盤とするデジタル医薬品、ナノメディシン、ゲノミクスなどの変革は急速なペースで起こっています。

デジタル技術への依存が高まることで、サイバーセキュリティの懸念も高まります。システムに対する大規模で組織的なサイバー攻撃は、社会全体に物理的・経済的な影響を連鎖的に及ぼす可能性があります。一方でネットへの接続環境や技術の理解に対する不均衡は、社会の情報格差を拡大し続けます。

### 私たちにできること：

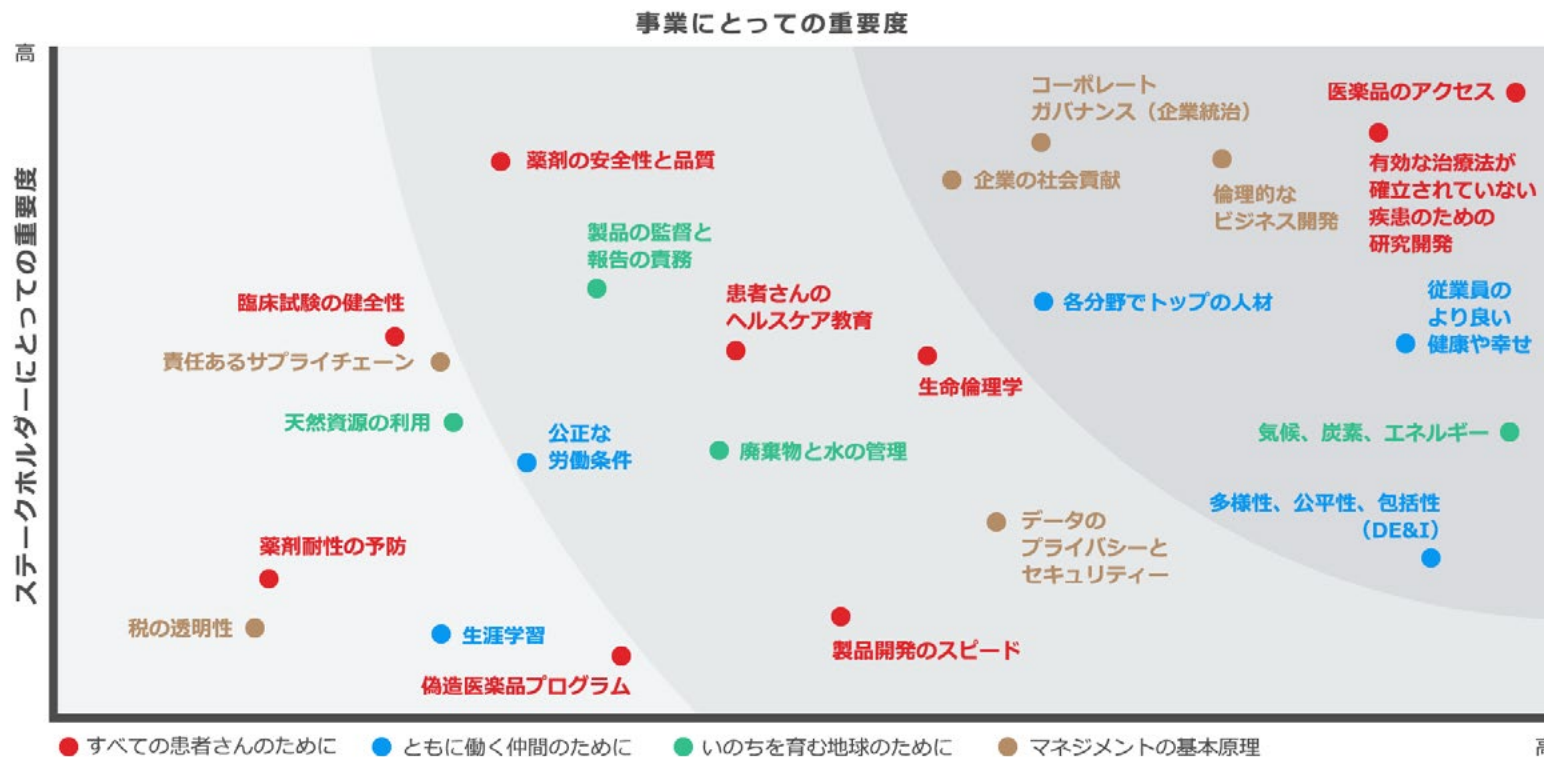
データとデジタルをさらに活用することによって、革新的な医薬品の創出や、より多くの患者さんへの医薬品の提供を加速させることができると考えています。新設されたデータ&テクノロジー部門のチーフ データ&テクノロジーオフィサーに就任したガブリエレ・リッチが、タケダで行われている変革と、この分野における将来の可能性について語っています。



[詳しくはこちら](#)

## 重要課題（マテリアリティ）の特定

非財務上の課題の戦略的な重要性、ステークホルダーからの関心の有無を判断するため、包括的な重要課題の評価（マテリアリティ・アセスメント）を実施しました。タケダでは、これらの課題を重要度に応じて優先度を判断し、私たちの企業理念である「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」、そしてマネジメントの基本原則に結びつけることで、私たちの価値観（バリュー）や存在意義（パーパス）に沿って行動できるようにしました。今後も、継続的に重要課題の見直しと更新を行い、毎年進捗状況を報告します。



マテリアリティ・アセスメントについて  
[詳しくはこちら](#)

## 環境・社会・ガバナンス（ESG）における最近の評価について

ダウジョーンズ  
サステナビリティ  
アジア パシフィック  
インデックス

S&P グローバル  
12年連続

ISS ESG  
プライムステータス

ISS  
3年連続

ディベロップト  
インデックス  
FTSE4GOOD

FTSE Russell  
17年連続

クライメイトチェンジ  
リーダーシップ

気候変動に関する情報開示  
で気候変動リーダーとして  
評価される

A- を獲得

リーダーズ  
インデックス  
MSCI ESG

MSCI  
12年連続

アクセス ツー  
メディスン インデックス

Access to Medicine  
Foundation  
総合6位、Governance  
of Access で製薬業界トップ  
の評価